西濃桃李高等学校　通信教育実施計画

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２　単位
対象学年	第　３　学年				
授業担当者					
使用教科書	東京書籍　701　政治・経済	副教材			
スクーリング	必要出席時間数	**２単位×１　＝　時間以上**	スクーリングとレポートを両方合格することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	**２単位×３　＝　枚**			
期末試験	合格得点目標	30　点以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会の在り方にかかわる現代社会の諸課題の解決に向けて探求するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解し、それらを適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や概念、理論などを学び、身に付けた技能をもとに、公正に判断し、自らの考えをもち、社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会実現のために現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公民として、より積極的に役割を果たそうとする自覚などを深める。

【年間指導計画】※学習方法欄の〇は週５週３、□は週１在宅・配当時間は週５生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート	評価の観点			配当
		スクーリング	レポート	試験	（〆切期日）	知	思	主	時間
4	第一章　現代日本の政治 第一節　民主政治の基本原理	〇	〇□			〇	〇	〇	
5	第二節　日本国憲法の基本原理 第三節　日本の政治機構	〇	〇□		No.1 ／	〇	〇	〇	
6	第四節　現代政治の特質と課題 第二章　現代日本の経済	〇□	〇□		No.2 ／	〇	〇	〇	
7	第一節　現代の資本主義経済 第二節　現代経済のしくみ	〇□	〇□		No.3 ／	〇	〇	〇	
8	試験対策								
9	前期期末試験 第三節　日本経済の発展と現状	〇□	〇□	〇□	No.4 ／	〇	〇	〇	
10	第四節　福祉社会と日本経済の課題 第三章　現代日本の諸課題	〇□	〇□						
11	第一章　現代の国際社会	〇□	〇□		No.5 ／	〇	〇	〇	
12	第二章　現代の国際政治	〇□	〇□		No.6 ／	〇	〇	〇	
1	後期期末試験(3 年)	〇□	〇□	〇□		〇	〇	〇	
2	後期期末試験(1,2 年)								
3									